

会長就任のご挨拶

日本ねじ研究協会
会長 椿 省一郎

このたび第 47 回定時総会及び理事会において日本ねじ研究協会の第 9 代会長に選任された（株）互省製作所の椿です。会長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

当会は昭和 44(1969)年に設立され、設立趣意書にある通り、学識者、使用者、製造者が結集して、ねじに関する広範囲の技術・知識を集中し、総合的に調査、研究、開発を行うほか、ISO(国際標準化機構)の活動に即応し、かつ我が国におけるねじの標準化とその普及を専門的立場で推進する機関として、48 年間に亘り活動して参りました。

例えば近年の取組みの中でも、高強度ボルトの研究、塑性域締付けの調査研究の成果は、業界の発展と技術力向上に貢献していると思いますし、標準化活動でも ISO 原案作成、ISO メートルねじへの一本化、JIS と ISO 規格との整合化など着実に進めてきています。

新年度も事業計画書に沿って、様々な活動を進めると共に、運営委員会では、当協会の在り方を改めて検討して参りたいと思っています。

“ねじだけでは何もできないが、ねじがなければ何もできない”と、私はその存在の意味と価値を捉えています。ねじは、なくてはならないものです。ねじは、なくなりません。ねじには未来があります。従いまして、私達の仕事には無限の可能性と課題があります。

微力ではありますが、精一杯努めさせていただきますので、会員の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。